



お客さまへの感謝の心を、 これからも大切にしていきます

ヤナセは、「最上質な商品・サービス・技術を、感謝の心を込めて提供し、“夢”と“感動”あふれる『クルマのある人生』を創ります。」を企業理念に掲げています。現在、自動車の電動化・自動化など自動車産業を取り巻く環境は急激な変革を遂げようとしています。1915年の創業以来、当社が最も大切にしているのは「お客さまへの感謝の心」です。

私たちが無上の喜びを感じる瞬間、それは、通り過ぎる輸入車の後部に貼られた「ブルー&イエロー」のヤナセステッカーを目にしたときです。そのクルマにお乗りのお客さまに「ありがとうございます」と、心の中で感謝の意を表しています。そして、ヤナセの100年を超える長い歴史と伝統の中で培ってきた“お客さまとの信頼の輪”をさらに太く・強くするため、当社は変化を先取りした新たな価値の創造を通じて、さらに上質なカーライフを社会に提供することに不断の挑戦をしていきます。



代表取締役社長執行役員
吉田 多孝

企業理念

Mission (使命)

最上質な商品・サービス・技術を、
感謝の心を込めて提供し、
“夢”と“感動”あふれる『クルマのある人生』を創ります。

Values (価値観)

感謝の心	“Thanks”	謙虚さと思いやりの気持ちを胸に、すべてに感謝の心で接します。
上質	“High Quality”	自己研鑽を積み重ね、おもてなしの心で、期待を超える満足と感動を提供します。
変革	“Innovation”	変化を先取りし、自由闊達に、新たな価値の創造に挑戦します。
情熱	“Passion”	会社と仕事に愛情と誇りをもち、最後までやり遂げる強い意志を貫きます。
信頼の輪	“Trust”	高い倫理観と遵法精神をもち、働く仲間を敬い、人の和を広げ、心豊かで幸せな社会の実現に貢献します。

信頼と安心の証



ヤナセでは販売するクルマのリアウインドウなどに、ブルー&イエローの「YANASE」のロゴステッカーを貼っています。これは、お客さまのクルマがトラブル遭った万一のときに、それに気付いたヤナセのスタッフが
お声掛けできるようにするためのものです。
ブルーは「自然を愛し、より豊かなゆとりある社会を目指す」という企業姿勢を、イエローはヤナセの「未来への限りない可能性」を象徴しています。

累計新車販売台数

200万台以上



概要

社名	株式会社ヤナセ
設立	1920年1月27日（創業：1915年5月25日）
本社	〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6番38号
資本金	6,975,872,000円
決算期	3月
発行済株式総数	47,260,000株

ヤナセ オフィシャルサイト



業績決算情報



Instagram



Facebook



LINE



YouTube



ヤナセ関係会社

ヤナセ ハイエルン モーターズ株式会社 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	ヤナセプレストオート株式会社 〒813-0044 福岡県福岡市東区千早四丁目14-8	株式会社ヤナセウェルサービス 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38
株式会社ヤナセグローバルモーターズ 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	ヤナセブランドスクエア株式会社 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	株式会社ティ・シー・ジェー 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目18-11 銀座SCビル
ヤナセ ヴィークル ワールド株式会社 〒136-0072 東京都江東区大島一丁目8-10	株式会社ヤナセオートシステムズ 〒224-0044 神奈川県横浜市都筑区川向町1117	株式会社ジップ 〒134-0086 東京都江戸川区臨海町三丁目3-3
ヤナセ オートモーティブ株式会社 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	株式会社ヤナセインシュアランスサービス 〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目6-8	

バリューチェーンを通じて、 新たな価値を提案し続けています

新車販売 事業

世界のクオリティを選ぶ楽しみ、
体感する喜びをご提供。

お客さま一人一人のご要望に沿った、喜びあふれるカーライフをご提案します

新車販売事業の使命は、お客さまに寄り添い、安全で楽しく乗れる車をご提供することです。そして、ご購入後も適宜適切なフォローを通じて“お客さまにとっての満足”を実現し、お客さまとの信頼関係を築いていくことを目指しています。「ヤナセは、取り扱う車もスタッフも一流。だから信用できる」。こうした評価を頂けるよう、商品知識や接客マナーはもちろん、教養、経験、

人間的魅力を磨き、お客さまにとって「信頼できるパートナー」になれるよう努めています。各ブランドの世界観を具現化したショールームでは、心地よい時間を過ごしていただきたいと願っています。感謝の心を込めてお客さまをお出迎え・お見送りすることで、「また訪れたい」と思っただけの空間づくりを心掛けています。

中古車販売 事業

世界のプレミアムブランドをより身近に、
安心してご購入いただける仕組みを構築。

ヤナセならではの安心感を強みに、かけがえのない一台をご提供します

ヤナセは1967年、日本で初めて海外メーカー中古車に品質保証制度を導入。広大な中古車展示場、ご希望の車種を検索できるウェブサイト、車のライブ映像を確認できるオンラインサービスなどを通じて、お客さまに世界のプレミアムブランドを身近に感じていただくことを目指しています。現在は「ヤナセ認定中古車」「メーカー認定中古車」の2つのカテゴリーで中古車を販売。中古輸入車において日本最大級の商品数を誇るヤナセ

認定中古車展示場「ヤナセブランドスクエア」のほか、各メーカーの専用展示場で豊富なラインアップから最良の一台をお選びいただけます。さらに、オートオークションの運営を通じて輸入車流通の活性化にも努めています。同じ種類、同じ品質の中古車は二台としてなく、一台一台の価値は異なります。そうした、かけがえのない一台をお客さまにご提供し続けています。

ヤナセは、「新車販売」「中古車販売」「アフターセールス」「金融保険」の4つの事業を通じて、お客さまの“豊かなカーライフ”のサポートを目指しています。そして、カーライフに多彩な価値をご提供する「バリューチェーン」を推進することで、お客さまとのゆるぎない信頼関係を永続的に築いていきます。

アフター セールス事業

安心と感動をもたらす、
世界水準の技術サービスを。

「お客さまの安心」のために、常に向上心を持って技術を磨いています

ヤナセは、全国に有するサービスネットワークを活用し、お客さまがどこにいてもサポートできる体制を整えています。また、高度化する技術に対応するため、サービススタッフは専門的なトレーニングを実施。「国家一級小型自動車整備士」も多数在籍し、メーカー主催のサービス技術コンテストでは世界大会に出場するなど、その技術力は高く評価されています。また、BP

(ボディリペア&ペイント：板金・塗装)事業では、自動車メーカー認定工場として最新の技術情報と教育訓練を受けたメカニックを配備。さらに環境に配慮した水性塗料をいち早く導入しました。お客さまに安心して愛車をお任せいただき、「期待以上の感動」をご提供できるよう、常に技術知識と接客対応力を磨いています。

金融保険 事業

ずっと安心・満足していただくために
生活全般をサポート。

ヤナセならではの付加価値を、ライフスタイルに合わせてご提供します

ヤナセはお客さまのニーズに合った自動車保険をご提案します。ご契約時や、万一の際の事故受付から車両修理まで一貫して対応。さらに、ヤナセグループで自動車保険を契約されたお客さまには、独自のサービス「ヤナセワンナップクラブ」を無償で付帯するなど、サポート体制も充実しています。また、車をご購入の際には、ライフプランに合わせて最適な支払い方法をお選びいただける、ファイナンス商品もご用意。

「ヤナセオートローン」は通常の均等払いのほか、車両価格の最大50%を据え置ける残価設定型の「マイスタイル」、契約後もご都合に合わせて支払額を変更できる「ステップ&フレックス」、その他オートリースなど、さまざまなファイナンスプランをご利用いただけます。



■ パーツ&アクセサリ

エンジンオイルやタイヤをはじめ、メーカー純正のパーツ&アクセサリ、ヤナセオリジナルパーツ、リサイクルパーツなどを多数ご用意。また、当社オリジナルの「帰宅支援キット」は、年間販売金額の一部を日本赤十字社に寄付しています。

※自動車メーカーにより、推奨するエンジンオイルは異なります。



モービル1

AllSeasonContact™

帰宅支援キット

■ カーケアシステム

ボディの汚れを防ぎ美しく保つ「ヤナセミラーフィニッシュプレミアム」、シートを汚れや傷から守る「ヤナセシートガード」など、愛車の外装・内装の保護を目的とした14種類のサービスメニューをご提供しています。



■ 福祉車両

ヤナセでは「バリアフリーな輸入車で、車のある人生をもっと長く」を掲げ、いつまでもスタイリッシュな車に乗り続けたいお客さまに福祉車両をご提供します。



「片アーム式車いすリフト」を装着したメルセデス・ベンツ「Vクラス」

■ ヤナセ クラシックカー センター

ヤナセ クラシックカー センターでは、幅広い年代の旧車を修復・復元。お客さまからのレストアの依頼に応える最善の方法で、「乗って楽しむクラシックカー」をご提供します。



■ ヤナセ プレミアムカー レンタル

専用店舗の北海道千歳店のほか、東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城・北海道・沖縄エリアのニッポンレンタカー各営業所に、輸入車レンタカーを配備しています。



ニッポンレンタカー プレミアムカーレンタル千歳

■ コミュニケーション誌「YANASE LIFE」

「ヤナセと共に人生の喜び、愉しみを感じていただきたい」という願いから「YANASE LIFE」を年4回発行。約20万人のお客さまにお届けしています。



■ テレビCMの企画制作「株式会社ティ・シー・ジェー」

グループ会社のTCJは、国内で最も古い歴史を持つTV-CMプロダクションです。歴史と信頼を軸に、映像制作を通じて社会に情報を発信しています。



ヤナセ企業CM「ヤナセ プレミアムカー レンタル篇」

社会貢献活動

■ スポンサー契約で活動を支援

2014年3月に、プロゴルファー宮里 優作 選手とスポンサー契約を締結。ヤナセの全国ネットワークを活用して国内ツアーでの移動車両を提供しています。さらに、2021年2月にはプロゴルファー大里 桃子 選手とオフィシャルサプライヤー契約を締結しました。



1915年 (大正4年)

梁瀬長太郎の個人経営による「梁瀬商会」(当社の前身)が日比谷に創立 ①

ビュイック、キャデラックの販売開始



創業者 梁瀬長太郎

1993年 (平成5年)

オベルの一手輸入販売開始 (株) フランス・モーターズ設立 (資本金3,000万円) ルノーの販売開始

1996年 (平成8年)

新車累計販売台数100万台達成 (1952年より) ④
ヤナセサターン (株) 設立 (資本金3,000万円)、翌年よりサターンの販売開始



1997年 (平成9年)

サーブの一手輸入販売開始

2000年 (平成12年)

シボレー、オベル、メルセデス・ベンツAMGの輸入権を日本人へ移管
スマートの販売開始

2001年 (平成13年)

アウディの販売再開

2002年 (平成14年)

梁瀬次郎会長が初代日本自動車殿堂入り

2003年 (平成15年)

キャデラック、サーブの輸入権を日本人へ移管
ヤナセ バイエルン モーターズ (株) 設立 (資本金2億円)、BMWの販売開始
日本最大級の輸入車中古車展示場ブランドスクエア横浜を開設

2004年 (平成16年)

梁瀬次郎名誉会長が米国自動車殿堂入り ⑤
(株) ヤナセグローバルモーターズ 設立 (資本金3,000万円)
ヤナセ ヴィークル ワールド (株) 設立 (資本金1,000万円)



(提供：日刊自動車新聞社)

2005年 (平成17年)

フォルクスワーゲンの販売再開

2006年 (平成18年)

ボルボの販売再開

2007年 (平成19年)

ヤナセ オートモーティブ (株) 設立 (資本金1億円)、アウディ販売事業を移管

2011年 (平成23年)

(株) ヤナセオートパーツにBP事業を移管し、同社の商号を(株) ヤナセオートシステムズに変更

2015年 (平成27年)

創立100周年記念式典・祝賀式を開催 ⑥
2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー「実行委員会特別賞」を受賞



2016年 (平成28年)

公益財団法人交通遺児育英会と日本赤十字社への支援活動により「紺綬褒状」を受章
「ヤナセ プレミアムカー レンタル」を開始

2018年 (平成30年)

ヤナセグループ新車累計販売台数200万台を達成
「ヤナセ クラシックカー センター」を開設
ヤナセプレストオート (株) 設立 (資本金1,000万円)、ボルシェの販売開始

2020年 (令和2年)

(株) ジップの株式を取得し、オークション事業に参入

2021年 (令和3年)

ヤナセブランドスクエア (株) 設立 (資本金1,000万円)、ブランドスクエア事業を分社化

1920年 (大正9年)

梁瀬自動車 (株) 設立 (資本金500万円) シボレーの販売開始

1922年 (大正11年)

エンジンなど全てを自前で製作した純国産車「ヤナセ号」が完成 ②

1927年 (昭和2年)

フィアット、スチュードベーカー、アースキン、レオトラックなどの全日本販売権を獲得



1937年 (昭和12年)

ポンテアックの輸入販売開始

1940年 (昭和15年)

梁瀬式天然ガス装置の製造・販売開始

1947年 (昭和22年)

オリエントオート三輪車、たま電気自動車など国産車の販売開始

1949年 (昭和24年)

ボックスホールおよびベッドフォードの東日本地区販売権を獲得

1950年 (昭和25年)

パッカートの西日本での販売開始

1952年 (昭和27年)

メルセデス・ベンツの販売開始 ③

1953年 (昭和28年)

フォルクスワーゲンの販売開始

1957年 (昭和32年)

プリンスの販売開始



初輸入したメルセデス・ベンツ「170」

1960年 (昭和35年)

ボルボの販売開始

1961年 (昭和36年)

メルセデス・ベンツディーゼルエンジンの販売権獲得

1965年 (昭和40年)

フォルクスワーゲンの配車・パーツセンター、横浜デポー、小牧デポーを開設

1967年 (昭和42年)

アウディの販売開始

1969年 (昭和44年)

社名を(株) ヤナセに変更

1974年 (昭和49年)

旧西ドイツコンチネンタル社との間にタイヤの一手輸入販売契約を締結

1981年 (昭和56年)

いすゞ自動車 (株) との間に同社製品の販売契約を締結、ピアツァ・ネロの販売開始

1984年 (昭和59年)

日産自動車 (株) 製フォルクスワーゲンサンタナの販売開始

1987年 (昭和62年)

メルセデス・ベンツの輸入権をウエスタン自動車 (株) から日本人へ移管
エーエムジー・ジャパン (株) 設立 (資本金6,000万円)、メルセデス・ベンツ AMGの販売開始

1992年 (平成4年)

フォルクスワーゲン、アウディの輸入販売中止



クルマはつukらない。クルマのある人生をつukっている。 